

阪神高速事業アドバイザリー会議 〔第19回〕

「2025年度の事業実施状況・トピックス」

2025年11月19日
阪神高速道路株式会社

目 次

○2025年度の事業実施状況	
1. ネットワーク整備の状況	…2
2. 高速道路リニューアルプロジェクトの状況	…7
3. お客さま満足向上施策の実施状況	…8
○その他トピックス	
1. 大阪・関西万博における取り組み	…10
2. 経営効率化の取り組み	…16
3. 地域連携施策の展開	…18
4. 会社設立から20年の取り組み総括	…19
5. 新たなグループビジョンの策定	…25

1. ネットワーク整備の状況

○阪神高速では、

お客様の利便性向上、関西経済の活性化などに寄与するミッシングリンクの解消に向け、現在、淀川左岸線(2期)、淀川左岸線延伸部、大阪湾岸道路西伸部、名神湾岸連絡線の整備を推進しています



*淀川左岸線延伸部の延長は、西日本高速道路(株)の単独施行区間1.1kmは除いたもの

*名神湾岸連絡線の延長は、国・西日本高速道路(株)の合併施行区間0.3kmは除いたもの

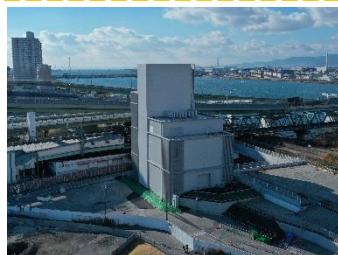
1. ネットワーク整備の状況

淀川左岸線(2期)

- 大阪市より受託している海老江地区では本体工事は概ね完了しました。豊崎地区では、付属施設設置工及び換気所の掘削等を継続して実施しています
- 大阪・関西万博会場へ向かうシャトルバスのアクセスルートとして活用されました

淀川左岸線延伸部

- 豊崎地区では地中障害物撤去工事が完了しました
- トンネル部では有識者の助言を踏まえ設計検討を実施しています
- 堤防・トンネル一体構造の区間では、安全性等の検討が完了し、仮堤防設置に向け国と調整を進めています



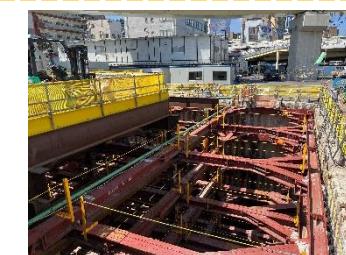
換気所建物の完成状況



万博期間中のアクセスルートの状況



ランプ部舗装工事の完成状況



換気所掘削工の実施状況



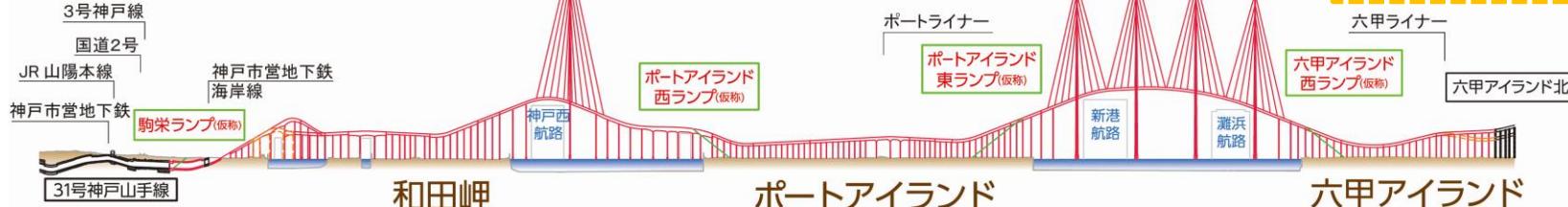
1. ネットワーク整備の状況

大阪湾岸道路西伸部

- 駒栄地区では開削トンネル（本体）工事を実施しています
- 六甲アイランド地区では橋梁の橋脚及び基礎工事を実施しています
- 海上部長大橋（新港・灘浜航路部）では詳細設計を実施中です



縦断図



1. ネットワーク整備の状況 -大阪湾岸道路西伸部-

視覚から西伸部のファンを増やし、さらなる建設への期待感の醸成につなげることを目的として、大阪湾岸道路西伸部(六甲アイランド～駒栄)間に将来架かる海上長大橋(2橋)を体験することができる大阪湾岸道路西伸部ARアプリをリリースします。(12/2リリース予定)

●概要

大阪湾岸道路西伸部では、「神戸の都市景観との調和」「シンボル性」にも配慮した海上長大橋を2橋建設予定です。

今般リリースするARアプリでは、海上長大橋の完成予想CG※を、現実の視点場から自身のスマートフォン等で体験することができます。

※構造・デザイン・色彩等は、現時点の案の1つであり、今後変更の可能性があります



●視点場一覧



●HP



●ARアプリ内で撮影した写真



1. ネットワーク整備の状況

名神湾岸連絡線

- 共同事業者（国・NEXCO西日本）と事業の役割分担等を調整しています
 - 国と共に予備設計業務を実施しています
 - 渡航部における構造検討や、各JCT部における交通影響・施工法検討等を実施しています
- <平面図・縦断図>



注)この縦断図は名神高速道路→名神湾岸連絡線→阪神高速5号湾岸線(神戸方面)のランプをイラスト化したものです。イメージであり、構造等は確定したものではありません。

2. 高速道路リニューアルプロジェクトの状況

○阪神高速道路を100年先も安全・安心・快適にご利用いただけたため、構造物の長寿命化に向けた「高速道路リニューアルプロジェクト（大規模更新・修繕事業）」を推進しています

事業箇所と主な進捗状況

3号神戸線 湊川(1968年開通)



新設橋脚設置状況

- 耐久性向上及び最新の耐震基準への適合のため、既設橋脚間に新たな橋脚の架設が完了
- 上部工の架け替えまでの健全性把握のためモニタリングを実施中

15号堺線 湊町(1972年開通)



埋戻し完了状況

- 先行施工分（全9基の鋼製基礎のうちの3基を対象）では躯体コンクリート工など本体工事が完了
- 残り6基についても順次着手予定

11号池田線 加島(1967年開通)



現地状況

- JR線を跨ぐ連続鋼製橋桁を対象に、耐久性向上等も考慮し、橋桁の連結化工事を実施中
- 桁補強工、耐震補強工を実施中

14号松原線 喜連瓜破(1980年開通)



工事完了状況

- 2022年6月より松原線の一部区間を上下線通行止めにより、橋梁全体を鋼製の連続桁へ架け替える工事を実施
- 街路復旧も含めて全ての工事が完了



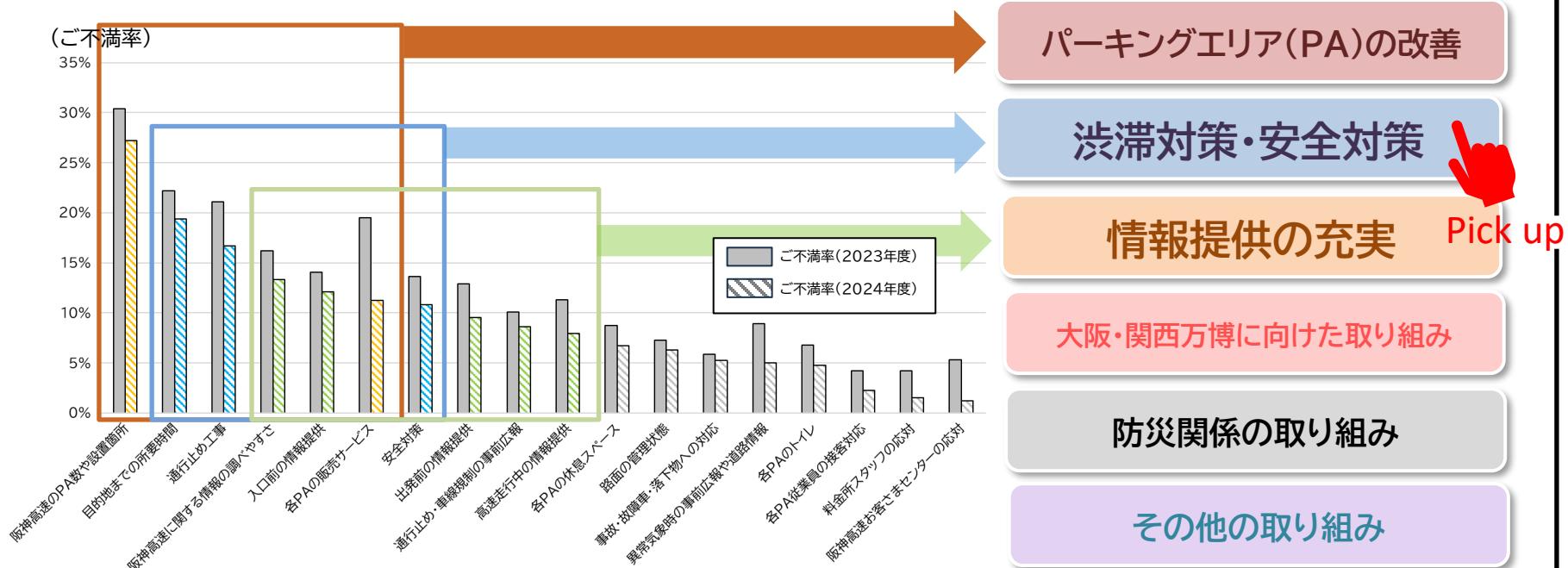
3. お客さま満足向上施策の実施状況

お客さま満足向上のための具体的な取り組みプランを取りまとめ、2017年度より毎年度公表しています。2025年4月8日には『お客さま満足アッププラン2025』を公表しました。



お客さま満足度調査(2024年度)の内容を踏まえた2025年度の取り組み

お客さま満足度調査(2024年度)の結果を前年度(2023年度)と比較分析したところ、すべての項目においてご不満率*が低下していました。年度比較ではお客さまのご不満は改善しているものの、まだご不満率が高い「パーキングエリア(PA)の改善」「渋滞対策・安全対策」「情報提供の充実」に着目し、お客さま満足の向上を目指します。



*「ご不満率」について

各項目について「不満」「どちらかといえば不満」「どちらかといえば満足」「満足」の4段階又は「利用していないのでわからない」でご回答頂いた結果により、次のとおり算出。
ご不満率… 各項目のご回答数のうち「不満」「どちらかといえば不満」が占める割合(「利用していないのでわからない」は回答数から除く)

3. お客さま満足向上施策の実施状況

渋滞対策・安全対策

～満足アッププラン2025に掲載した取り組みの実施～



最近、逆走が問題になっています。積極的に対策や注意喚起してほしいです。

(2024年度満足度調査 お客さまの声)

交通安全対策 基本計画(2024-2028)に基づき、ハード・ソフトの両面で安全対策を進めています。
ソフト面の取り組みの1つとして、**逆走・誤進入対策に関する広報動画**を公開しました。

交通安全対策の 広報充実



YouTubeを
チェック！

名探偵
さかがみ たかはや
阪神高速さん
逆走・誤進入の謎を解き明かす！



File.1 招かれざる逆走



File.2 誤進入はナビの誘い

自社広報ツールでの発信

- ・YouTube **※幅広い層を対象**
- ・HP(ドライバーズサイト)
- ・X
- ・Facebook
- ・PA等のデジタルサイネージ
- ・交通安全啓発イベントでの投影

web広告配信(投入回数)



YouTube
(約300万回 予定)



X
(約83万回)



TikTok
(約65万回)

【エリア】 大阪、京都、滋賀、和歌山、奈良、兵庫

【オーディエンス(YouTube・X)】

逆走や誤進入の危険性が高い**「自動車」「原付バイク」「自転車」「ナビアプリ」**ユーザーを広告表示がされやすいターゲットに設定

1. 大阪・関西万博における取り組み

阪神高速は、関西の暮らしや経済・社会活動を下支えするインフラ企業として、2025大阪・関西万博の成功と関西経済のさらなる発展に貢献するため、万博関連プロジェクトを実施しました。

(目的)

(阪神高速の取り組み・効果)

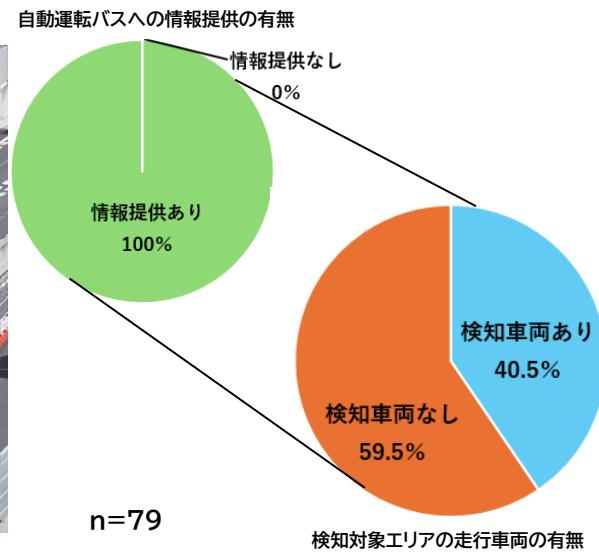
交通円滑化への貢献	輸送拡大・利便性向上	淀川左岸線(2期)を駅シャトルバスの会場アクセスルートに活用
	安全走行支援	自動運転バスの安全走行を路車間協調による情報提供で支援
	輸送需要の平準化	ETCによるモビリティ認証技術で万博P&Rでのダイナミックプライシング実施に協力
		リアルタイム交通予測を用いた実証実験を行い効果等を検証
	情報の提供	阪神高速LINE公式アカウントに「万博専用タブ」を追加
地域への貢献 サービス向上	周辺観光地への誘客	高速道路会社間で連携し周辺地域の観光情報等を提供
	街全体での万博の盛り上げ等	長大橋等のライトアップ、構造物美装化により景観を演出
	多様なお客さまニーズに対応	デジタルサイネージで万博情報等の提供やお客さま遠隔対応を実施
次世代継承	大阪・関西の歴史と交通の関わりとその未来像の提示	最新技術による映像作品を万博バーチャル会場へ出展

1. 大阪・関西万博における取り組み

交通円滑化への貢献 –路車協調システムによる自動運転の支援–

- アクセスルートで運行する自動運転バス(京阪バスが運行する延べ586便)に対して高速道路側で検知した情報を送信・提供し、合流部における自動運転バスの安全走行を支援しました(路車間協調)
- 海老江JCTにおいて自動運転バスへ提供した情報のうち、約4割は合流車両の存在を知らせるもので、スムーズな走行に寄与しました
- 期間中1万5千人以上のお客さまに、路車間協調により安全に走行する自動運転を体験頂きました

合流支援システムによる情報提供概要(海老江JCT)



※1 2025年9月1日～9月30日の期間で、海老江JCTの合流部において提供した合流支援情報の内訳

今後の自動運転車の拡大や将来の完全自動運転化を見据えて、都市高速道路の果たすべき役割や課題の検討を行い、自動運転車を含めたすべてのお客さまへの安全・安心・快適な道路交通サービス提供のため、路車間協調等の自動運転技術の確立と実装に向けて取り組みます。

1. 大阪・関西万博における取り組み

交通円滑化への貢献 –リアルタイム交通予測を用いた実証実験–

- 阪神高速では、お客様の利用シーンに応じて渋滞情報や所要時間などをタイムリーにお届けすることを通じ、**移動ニーズと交通円滑化の両立**を図るWelmos^{注1)}の実現に向けて取り組んでいます
- 大阪・関西万博中は、実験アプリ“**Welmos Agent**”により、交通円滑化(渋滞緩和・環境負荷軽減・事故削減など)に向けた有用性や使用性などを、アップデートを重ねながら、段階的に検証してきました
- 実証実験は、**2025年12月14日まで継続予定**です

注1)『Well-Moving Society』の略称で、多様な移動ニーズに個別に応えつつ、交通全体として円滑化された移動社会

注2) 実証実験特設サイトURL:<https://demo.welmos.jp>

(Welmos Agentの概要)

スケジュール管理と経路検索をワンアプリ化し、リアルタイム交通予測を行う**RASiN**との連動で、渋滞予測アラートや渋滞予報、社会貢献スコアなどを提供し、**渋滞を避けた移動**の実行を訴求



普段利用しているカレンダーアプリ

Android/iOS
OS標準カレンダー

Microsoft Outlook

Google Calendar

同期

スケジュール連携

経路検索

遅延アラート受信

渋滞予測カレンダー

スコア確認

行動変容によるスコアアップ

登録経路の渋滞予測に基づくアラート

移動の工夫（行動変容）による社会的効果を総合評価した社会貢献スコアの算出

実証実験では、予測精度やサービスの使用性の実証、行動変容の実行性の検証を行い、その結果を踏まえて、**新たなモビリティサービス**としての実現性を評価するなど、本格実装に向けた諸課題の検討を進めていきます

1. 大阪・関西万博における取り組み

交通円滑化への貢献－万博P&R利用料金ダイナミックプライシングへの貢献と未来社会への可能性－

- 万博では、ETCによるモビリティ認証技術でインセンティブ対象車両を特定し、ダイナミックプライシング実現に貢献
- 未来社会に向けて、ETCによるモビリティ認証技術の信頼性や交通課題解決の可能性を確認

万博P&Rで活用した ETCによるモビリティ認証技術

- ・万博P&Rでは、会場アクセスの混雑緩和を目的として料金を変動させるダイナミックプライシングを導入。
- ・阪神高速は、ETCによるモビリティ認証技術を用いて①予約情報、②ETC入庫情報、③ETC通行履歴情報を自動的に認証／照合／判定することで混雑緩和へのインセンティブ（料金割引）の対象車両を特定。



ETCによるインセンティブ付与状況と 未来社会への可能性

(数値は博覧会協会からの公表値による)

- ・多い日は1日数千台を超える車両に対し184日間連続で漏らすことなく対象車両を特定。ETCの特徴である天候等に影響されない高い精度や安定した稼働を実証。
- ・ETCを活用したインセンティブ付与は日本初の試みであったが、その適用台数はP&R駐車場の事前予約台数（当日予約除く）の約6割にのぼり、未来社会でも交通課題解決にETCが貢献できる可能性を認識。

(参考)万博P&R利用料金ダイナミックプライシングの概要

舞洲P&R	尼崎・堺P&R
6,500円	6,500円
②混雑時間帯※1 +500円	②混雑時間帯 +500円
①繁忙期※2 +500円	①繁忙期 +500円
①閑散期▲500円	①閑散期 ▲500円
③阪高中心部迂回※3 ▲500円	③阪高中心部迂回(堺)▲500円
4,500円	4,500円
P&R駐車場とP&Rシャトルバスの利用料金を合わせた料金	④駐車分散▲500円

指定出口(湾岸舞洲・淀川左岸舞洲・三宝・尼崎東海岸)を利用しない場合、上記に1000円加算

一般道や阪神高速の混雑緩和に対するインセンティブとして
博覧会協会にて最大1500円を割り引き

1. 大阪・関西万博における取り組み

交通円滑化への貢献 –モビリティ認証パッケージの提供–

○万博P&Rで実証したETCによるモビリティ認証技術を多目的に利用するシステムやノウハウなどを
『モビリティ認証パッケージ』として様々な企業・事業者のみなさまに提供

モビリティ認証パッケージ

ETCを多目的に利用するため、多様な場所へのETC路側機の導入やシステム・ノウハウなど一連の仕組みを提供し、交通混雑緩和や車両管理自動化などに課題をお持ちの多方面の企業・事業者サービスと連携を目指して展開。

●モビリティ認証パッケージの活用例

ETCスマート割	混雑を避けて阪神高速をETC通行すると事前予約した駐車場の利用料金が割引になるサービスです。 (実証実験中)
大型商業施設	駐車場への来場・退場渋滞にお悩みの場合、経路や時間帯による交通混雑緩和がETCにより実現可能です。
物流センター	物流センターへの入退場受付業務で、天候等に影響されない高い精度の車両管理自動化がETCにより実現可能です。

●モビリティ認証パッケージの活用シーン



●モビリティ認証パッケージの特徴



天候、外乱、汚損等に影響されず
精度が高い



カメラ等より
故障が少ない



タッチレス、ワンストップで
認証できる



偽造困難で機密性や完全性が
担保されている



すべてのETCカードが使える
分かりやすさ

引き続き、様々な企業・事業者のみなさまと共に、お客さまサービス高度化、地域経済の発展、社会課題の解決に貢献し、安全・安心・快適な次世代モビリティサービスの実現を目指して参ります。

1. 大阪・関西万博における取り組み

交通円滑化への貢献 –阪神高速LINE公式アカウントを活用した情報提供の充実–

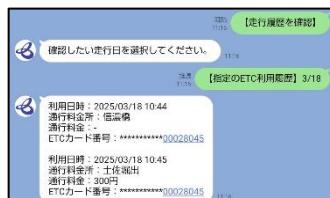
- 2024年4月に開設した阪神高速LINE公式アカウントの通常タブに、阪神高速ETC利用履歴提供サービスなどの便利な機能を追加するようバージョンアップしました（2025年4月15日リリース）
- 阪神高速LINE公式アカウントのご利用状況・ニーズを把握するため、情報配信（プッシュ配信）に係るカテゴリ別配信機能を構築。お客様が希望されるカテゴリの情報のみを的確に配信することが可能になりました（同日付でリリース）
- 万博期間中は、万博に関連する情報を一つにまとめた「万博専用タブ」を追加して、お客様が便利な情報や機能にアクセスしやすくするとともに、「万博P&R利用料金ダイナミックプライシング」や「Welmos」の情報をプッシュ配信してお客様にお知らせし、交通円滑化に貢献しました

(通常タブ)

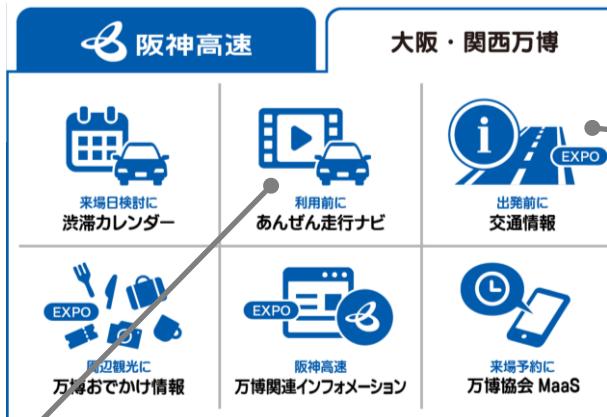


阪神高速ETC利用履歴提供サービス

阪神高速をETC無線通行後30分を目安に利用履歴をご提供します



(万博専用タブ)



走行予習動画 万博モード

路線別に万博P&R駐車場までの走行方法を動画で解説します



LINE公式アカウント
友だち募集中



はしれGo! 万博モード



出発地から万博P&R駐車場の指定出口までのルート、所要時間、料金を検索できます

2. 経営効率化の取り組み

ETC専用化

①全料金所での段階的な無人化・ETC専用化による料金収受業務の更なる効率化

2012年～
自動収受機設置による
無人化

2017年～
遠隔応対の集約化
※無人化50箇所

現在

全143料金所中のうちETC専用化51箇所

全料金所で段階的に無人化・
ETC専用化を推進

※2025年8月時点で、ETC利用率97.55%



●既にETC専用運用を実施している料金所(51か所)

② ETC専用化広報・案内

- 認知度向上に向けて、多くの方が目にする媒体による全体広報と個別広報を組み合わせて実施。
- 個別広報として、レンタカー会社及び免許試験場で広報物を配架。



全体広報

●インターネット広告



Yahoo!・Google・
SmartNews

●駅前デジタルサイネージ



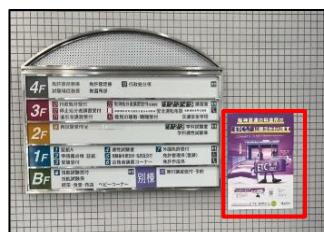
新大阪・なんば・三ノ宮・御堂筋線主要 南海・阪神・神戸地下鉄 外



●電車内広告

個別広報

●レンタカー会社、府警・県警の免許試験場で配布掲示



運転免許試験場

※更なる認知度向上に向けた効果的な広報が必要

3. 地域連携施策の展開

地域連携協定の締結と連携施策の展開

- 沿線地域の観光・産業振興と地域社会の活性化を目的に沿線自治体と連携協定を締結。
- 阪神都市圏の自動車利用者とのコミュニケーション力を活かし、連携協定を具現化する施策を展開。

地域連携協定の締結

昨年度、高石市、泉大津市、忠岡町と地域活性化の連携協定を締結。
今年度、新たに岸和田市、貝塚市、泉佐野市をパートナーとした施策を実施し、地域との連携を拡充中。



地域周遊企画

協定締結した2市1町と連携し、観光と産業の振興を目的に、域内の38店舗が参加するクーポンを活用した周遊キャンペーンを開催。



2025年度の実施企画

イベント開催

沿線地域の魅力発信を目的に、沿線地域の自治体・店舗との連携により、泉大津パーキングエリア（海側）展望ルームにて地域イベントを開催。
(2025年度は12月に開催予定)



2024年度開催イベント

沿線地域の自治体及び事業者とのさらなる関係強化・連携により、引き続き、地域社会の発展に向けた多様な施策を展開